

1. 基本情報

事務事業名	生涯学習推進計画策定事業			事業開始年度		実施計画 事業番号	3-2-①-1
担当課	社会教育課	担当係	社会教育係	担当者	須田 圭一		
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務			法定根拠			
実施方法(全てチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他()						

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標	3	豊かな心を育み文化を高めるまちづくり
	政策	2	生涯を学びゆとりを育む
	施策	①	地域社会に還元する生涯学習の推進
	具体的な施策	1	生涯学習推進協議会などと連携した生涯学習の推進
めざす目的成果	町民一人一人が、学びを通じてその能力を維持向上できるように、生涯にわたって必要な学習を行い、その成果を個人の生活や地域での活動などに生かすことができる社会を実現する		
事業 内容	対象 (誰を、何を)	全町民	
	手段・手法	第3次計画の策定及び製本	
	サービス内容	策定した計画を全ての町民が閲覧できるようにする (関係機関への計画冊子の配付、ダイジェスト版の全戸配付、町ホームページからの閲覧、情報公開コーナーでの閲覧)	

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円		令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)		令和3年度事業費の内訳	
コスト	事業費	報酬			163			[報酬] 委員報酬 163 [需用費] 印刷製本費 675	
		需用費			675				
		事業費合計	0	838	0	0			
		人件費							
	常勤職員(延)	人日	0	15人日	447	0人日	0		
	会計年度任用職員(延)	時間	0	時間	0	時間	0		
人件費合計		0	447	0	0				
総事業費		0	1,285	0	0		令和3年度財源内訳の積算		
財源内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源	0	1,285	0	0				
財源合計	0	1,285	0	0					
R2年度 実施内容	生涯学習推進計画策定委員会において計画内容をまとめ上げ、本計画とダイジェスト版の2種類を製本した。 ・生涯学習推進計画<第3次計画>・・・300冊 ・ダイジェスト版・・・4,000部								

活動指標 ※何をどのくらいやったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度
			R1(目標)	R2(目標)		最終目標値
			()	()	()	年度 ()
			()	()	()	年度 ()
成果指標 ※どのような効果があったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度
			R1(目標)	R2(目標)		最終目標値
本計画の配付数	配付数が多いほど生涯学習に 対する理解が広がり、その推 進が期待できる(関係機関等)	冊		145	-	年度 ()
ダイジェスト版の配付数	配付数が多いほど生涯学習に 対する理解が広がり、その推 進が期待できる(一般町民)	部		3,500	-	年度 ()

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1次評価(自己評価)	1. 妥当性の評価			1
	16	生涯学習推進計画策定事業	1	
		<input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0)	説明	町民の生涯学習に対する意識の向上を図ることは町の役割であり、町で行うのが適切であると考えられる。
	② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。			2
	<input type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input checked="" type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)	説明	事務局にて制作した素案をベースに議論を進めたが、初期の段階からの町民などの参加にも一考の余地はある。	
	2. 公平性の評価			
	20	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。	1	
		<input checked="" type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)	説明	全ての世代、全ての町民に向けた内容となっており、公平である。
	② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。			2
	<input type="radio"/> 十分適切である(10) <input checked="" type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)	説明	製本等に要する費用は町が負担するため、閲覧者の負担は発生しない。	
3. 有効性の評価			1	
16	① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。	1		
	<input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)	説明	町民の生涯学習への理解を深めることは、個々の人生の充実や、地域社会を形成する上で、大変有効である。	
② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。			2	
<input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input checked="" type="radio"/> 計画値通りである(6) <input type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)	説明	関係機関や全町民に行き届く数量の製本作業を予定どおり実施した。		
4. 効率性の評価			2	
12	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。	1		
	<input type="radio"/> 比較的低コストである(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	説明	金額は大きいですが、向こう10年間の計画であることを考えれば、概ね適正なコストと考えられる。	
② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。			2	
<input type="radio"/> 効率性が高い(10) <input checked="" type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率的である(0)	説明	計画策定にあたった人員と労力に対し、完成した成果物は概ね効率的に実施することができたと考える。		
5. 優先性の評価				
16	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。	1		
	<input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)	説明	10年間の計画期間であるため次年度は実施しないが、目まぐるしい社会環境の変化に対応する意味でも、計画期間に空白の無いよう、今後も策定していくことが必要である。	
② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。			2	
<input type="radio"/> 影響は大きい(10) <input checked="" type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)	説明	時代に即した生涯学習の推進に少なからずブレーキをかけてしまう恐れがある。		

合計	80 /100	事業実施の課題・方向性	10年間を計画期間とするため日が経つにつれ、今日の急激な社会情勢の変化によって、現状と計画とで謳っている内容に徐々にズレが生じてしまうことが懸念される。少なくとも前期から後期にかけて内容の再点検を行い、見直しの有無を確認する必要があると思われる。
----	------------	-------------	---

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価(政策プロ)	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input checked="" type="radio"/> 廃止・完了(時期: R2年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	今後の取組方針(改善点・変更点)		計画の進行管理を適切に実施すること。
主管者会議評価	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input checked="" type="radio"/> 廃止・完了(時期: R2年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	総合コメント		

1. 基本情報

事務事業名	社会教育学級開催事業			事業開始年度	R2		実施計画 事業番号	3-2-⑤-5	
担当課	社会教育課	担当係	社会教育係	担当者	須田 圭一				
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務			法定根拠					
実施方法(全てチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他()								

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標	3	豊かな心を育み文化を高めるまちづくり
	政策	2	生涯を学びゆとりを育む
	施策	②	自己実現をはかる社会教育の充実
	具体的な施策		
めざす目的成果	少年期から高齢者までの町民に対し、世代別に学習機会の提供などを続けることで、個人の人生が豊かで充実したものになると同時に愛郷心が生まれ、その成果が地域づくりへと還元される。		
事業 内容	対象 (誰を、何を)	少年期から高齢者までの町民	
	手段・手法	・各種講座、セミナーなど学習機会の提供 ・文化活動の推進 ・愛郷心を醸成する取り組み	
	サービス内容	・学習機会の提供(少年学習講座「おもいきり楽しみ隊」、高齢者学級「ひろおすまいる元気塾」、趣味教養学習講座「マイプラン」) ・文化活動の推進(文化賞表彰、大人の文化講座) ・愛郷心を醸成する取り組み(はたちのつどい)	

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円		令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)		令和3年度事業費の内訳	
コスト	報償費	213		224		403		[報償費] 講師謝金 235	
	需用費	172		90		375		文化賞等表彰費 56 成人式記念品費等 112	
	役務費	22		9		29		[需用費] 消耗品費 64 食糧費 67 印刷製本費 214 賄材料費 30	
	使用料及び賃借料	64		0		85		[役務費] 通信運搬費 14 筆耕翻訳料 7 折込手数料 8	
	事業費合計	471		323		892		フィルム借上料 55 講座用物品借上料 30	
	常勤職員(延)	29 人日	957	21 人日	626	25 人日	745		
	会計年度任用職員(延)	時間	0	時間	0	時間	0	[使用料及び賃借料]	
人件費合計	957		626		745				
総事業費	1,428		949		1,637				
財源 内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源	1,428		949		1,637			
財源合計	1,428		949		1,637				
R2年度 実施内容	少年期から高齢者までの町民を対象に各種講座を開催し、学習の機会を提供した。また、文化賞表彰を行うことで、町民の文化活動の推進を図った。更には、はたちのつどいを開催し、愛郷心醸成への取り組みとした。 (※大人の文化講座については、新型コロナウイルス対策のため中止。文化賞表彰については、表彰式未開催。)								

活動指標 ※何をどのくらいやったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度
			R1(目標)	R2(目標)		最終目標値
各講座等の参加者数	参加者が多いほど、費用対効果が高いと考えられる。	人	601	260	—	年度
			(1000)	(400)	(400)	()
			()	()	()	年度
成果指標 ※どのような効果があったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度
			R1(目標)	R2(目標)		最終目標値
					—	年度
			()	()	()	()
					—	年度
			()	()	()	()

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1次評価(自己評価)	1. 妥当性の評価			1	
	16	生涯学習推進計画策定事業		1	
		<input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0)	説明		全てが町民向けの内容となっており、町で行うのが適切であると考えられる。
	/20	② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。		2	
		<input type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input checked="" type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)	説明		世代別だけでなく、世代間交流にも取り組む余地があるが、新型コロナの関係で現状では交流促進に向けては慎重を期したい。
	2. 公平性の評価				2
	16	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。		2	
		<input type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input checked="" type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)	説明		年代別に幅広く講座参加の機会を設けており、年齢要件等を満たせば誰でも参加可能な内容である。
	/20	② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。		2	
		<input type="radio"/> 十分適切である(10) <input checked="" type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)	説明		基本的に参加無料の講座、催しがほとんどである。 (※稀に有料の講座も、材料費を実費負担いただく程度となっている。)
3. 有効性の評価				1	
14	① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。		1		
	<input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)	説明		町民の学習活動等への機運を高めることは、これからの地域社会を形成する上で、極めて有用である。	
/20	② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。		3		
	<input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input type="radio"/> 計画値通りである(6) <input checked="" type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)	説明		コロナ禍における事業実施ということもあり、多くの制約が課され計画値を下回っている。	
4. 効率性の評価				2	
12	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。		2		
	<input type="radio"/> 比較的低コストである(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	説明		事業別にみると著しく負担の大きいものは無く、各事業で適正なコストを保っている。	
/20	② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。		2		
	<input type="radio"/> 効率性が高い(10) <input checked="" type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率である(0)	説明		事業実施のための予算・人員という意味では、概ね適正と考えられる。	
5. 優先性の評価				1	
20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。		1		
	<input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)	説明		町内における教育力の向上、文化活動の普及などを推し進めることは行政の役割であり、継続して取り組んでいくことが必要である。	
/20	② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。		1		
	<input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)	説明		体験活動等の学習機会の減少、文化活動の減退は町としての魅力を損ない、地域づくりに大きな悪影響を与えるものである。	

合計	78 /100	事業実施の課題・方向性	学校教育、家庭教育と並んで社会教育を推進することは「広尾町生涯学習推進計画<第3次計画>」にも記載されており、今後も行政として継続して取り組んでいく必要があるが、人が集まる事業が基本となるため、コロナ禍の中でどのように推進を図るかが喫緊の課題である。
----	------------	-------------	---

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価(政策プロ)	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小
今後の取組方針(改善点・変更点)			
主管者会議評価	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小
	総合コメント		

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1次評価 (自己評価)	1. 妥当性の評価			1
	20	生涯学習推進計画策定事業		
		<input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0)	説明	家庭の教育力の向上につながる取り組みは、学校教育・社会教育と並んで、町で支援すべき事業である。
	② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。			1
	<input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)	説明	家庭教育は学校との連携を密にすることが肝要であり、各校長が先導して開設している現状のやり方に問題は無い。	
	2. 公平性の評価			
	16	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。		2
		<input type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input checked="" type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)	説明	幅広く家庭教育学級に参加する機会が設けられており、特定の保護者に対して不利益になることは無い。
	② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。			2
	<input type="radio"/> 十分適切である(10) <input checked="" type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)	説明	基本的に受益者による負担は無い。	
3. 有効性の評価			1	
10	① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。			
	<input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)	説明	家庭の教育力が低下してきているといわれる中で、保護者に対して情報提供や意見交換をすることは極めて有益である。	
② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。			4	
<input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input type="radio"/> 計画値通りである(6) <input type="radio"/> 計画値以下である(4) <input checked="" type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)	説明	コロナ禍にあって、思うように集う場面を設けられず中止とした学級もあり、計画値を大きく下回った。		
4. 効率性の評価			2	
16	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎているか。			
	<input type="radio"/> 比較的低コストである(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	説明	比較的安価なコストで、学級開設を維持することができており、概ね適正と考えられる。	
② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。			1	
<input checked="" type="radio"/> 効率性が高い(10) <input type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率である(0)	説明	各小学校長に学級主事を委嘱することで、低予算で計画から開設まで請け負っていたしており、効率性は高い。		
5. 優先性の評価				
20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)	説明	家庭内における教育力の低下が懸念される時代において、保護者が学ぶ機会を確保し、家庭教育に対する意識づけを図ることは行政の役割であり、次年度も実施すべきである。	
② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。			1	
<input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)	説明	家族間のコミュニケーション不足に拍車がかかり、青少年の問題行動の誘発に繋がる恐れがある。		

合計	82 /100	事業実施の課題・方向性	核家族化・ひとり親家庭の増加など家族形態の変容や、地域社会との関わりの希薄化を背景に、家庭における子育てに不安を抱える保護者が増加している。地域ぐるみで子どもに対する親の学びや育ちを支援するために、家庭と地域を結びつける仕組みづくりが重要である。また、コロナ禍にあっても継続して家庭教育に対する意識付けを図るための方策が必要である。
----	------------	-------------	--

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価 (政策プロ)	事業の方向性	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量 <input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小 労働量 <input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	今後の取組方針(改善点・変更点)	
主管者会議評価	事業の方向性	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量 <input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小 労働量 <input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	総合コメント	

1. 基本情報

事務事業名	体力づくり事業		事業開始年度		実施計画 事業番号	3-2-⑤-10
担当課	社会教育課	担当係	社会教育係	担当者	須田 圭一	
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務			法定根拠		
実施方法(全てチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他()					

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合計画(基本計画)上の位置づけ	基本目標	3	豊かな心を育み文化を高めるまちづくり
	政策	2	生涯を学びゆとりを育む
	施策	⑤	町民皆スポーツの振興
	具体的な施策	1	健康を意識したスポーツの振興
めざす目的成果	町民の誰もが「いつでも・どこでも」スポーツを気軽に楽しめる機会をつくり、基礎体力や運動能力の向上につなげる。		
事業内容	対象(誰を、何を)	全ての町民	
	手段・手法	・スポーツ推進委員及びスポーツ推進指導員の配置 ・体力づくり事業への取り組み ・スポーツ教室の開催 ・スポーツ賞等の表彰	
	サービス内容	・スポーツ振興に関する会議の開催 ・ニュースポーツフェスティバルの開催(ビーチボールバレー大会、フロアーリング大会、アイスストック大会) ・少年団活動事業の実施(スポーツテスト会、キャンプ交流、雪合戦交流会) ・アクアエクササイズ教室、親子スケート教室の開催、スポーツインストラクター派遣・配置事業 ・スポーツ賞等表彰式の開催	

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円		令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)		令和3年度事業費の内訳	
コスト	報酬		155		120		215	[報酬] スポーツ推進委員報酬 215	
	報償費		495		637		824	[報償費] スポーツ賞等記念品等 66 謝金 758	
	旅費		52		1		120	[旅費] 普通旅費 71 費用弁償 49	
	需用費		112		25		181	[需用費] 消耗品費等 181	
	役務費		3		9		14	[役務費] 筆料 14	
	事業費合計		817		792		1,354		
人件費	常勤職員(延)	40人日	1,320	40人日	1,192	40人日	1,192		
	会計年度任用職員(延)	時間	0	時間	0	時間	0		
	人件費合計		1,320		1,192		1,192		
総事業費		2,137		1,984		2,546	令和3年度財源内訳の積算		
財源内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源		2,137		1,984		2,546		
財源合計		2,137		1,984		2,546			
R2年度実施内容	・ニュースポーツフェスティバル事業・・・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として事業を中止した。 ・スポーツ少年団活動事業・・・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として事業を中止した。 ・スポーツ教室事業・・・1教室12月～3月の週2回実施し、延べ815人参加 ・スポーツ賞等表彰事業・・・スポーツ賞2人、スポーツ奨励賞2人、ジュニアスポーツ奨励賞1人								

活動指標 ※何をどのくらいやったかを把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度
			R1(目標)	R2(目標)		最終目標値
			()	()	()	年度
			()	()	()	年度
成果指標 ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度
			R1(目標)	R2(目標)		最終目標値
各事業への参加人数(延べ)	参加人数が多いほど、町内のスポーツ振興に対する効果が期待できる。	人	2388	815	-	年度
			(-)	(-)	()	()
受賞者数(スポーツ賞等)	受賞者数が多いほど、町内のスポーツ振興に対する効果が期待できる。	人(団体含)	3	5	-	年度
			(-)	(-)	()	()

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1次評価 (自己評価)	1. 妥当性の評価			1
	20	① 国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0)	説明	
	/20	② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)	説明	
	2. 公平性の評価			1
	20	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)	説明	
	/20	② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 十分適切である(10) <input type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)	説明	
3. 有効性の評価			1	
14	① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)	説明		定期的な運動機会の提供や、町民同士の交流の場を設ける観点からも、極めて有効な事業である。
/20	② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。		3	
	<input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input type="radio"/> 計画値通りである(6) <input checked="" type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)	説明		目標値は設定していないが、コロナ禍により、事業数が減少しており、達成度は低い。
4. 効率性の評価			2	
12	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎているか。		2	
	<input type="radio"/> 比較的低コストである(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	説明		事業別にみると著しく負担の大きなものはなく、各事業で概ね適正なコストを保っている。
/20	② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。		2	
	<input type="radio"/> 効率性が高い(10) <input checked="" type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率である(0)	説明		概ね適正と考えられる。
5. 優先性の評価			1	
20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)	説明		北海道の、取り分け児童における体力の低下が数年前から指摘されている現状を鑑みても、体力づくりの推進は必須の取り組みであり、次年度以降も必ず実施すべきである。
/20	② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)	説明		運動の機会や、運動を通じた交流機会を減少することは町の魅力を損ない、地域づくりにも大きな悪影響を与えるものである。

合計	86	/100	事業実施の課題・方向性	近年、スポーツをする人とそうでない人の二極化が進む中において、より多くの町民に運動習慣を身に付けてもらうことは健康増進にとっても非常に重要である。コロナ禍においてスポーツ大会の開催など、どのような対策を講じて体力づくり事業を推進していくかが、喫緊の課題である。
----	----	------	-------------	--

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価 (政策プロ)	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	今後の取組方針(改善点・変更点)		
主管者会議評価	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	総合コメント		

1. 基本情報

事務事業名	キッズ英語体験教室運営事業			事業開始年度	H21		実施計画 事業番号	3-2-⑧-29	
担当課	社会教育課	担当係	社会教育係	担当者	須田 圭一				
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務			法定根拠					
実施方法(全てチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他()								

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標	3	豊かな心を育み文化を高めるまちづくり
	政策	2	生涯を学びゆとりを育む
	施策	⑧	広い視野を育成する地域間交流の推進
	具体的な施策	2	国際交流の推進
めざす目的成果	英語指導員による幼児期からの継続的な語学学習機会の提供により、今後の国際化の進展に対応する広い視野をもった人づくりをめざす。		
事業 内容	対象 (誰を、何を)	4歳以上の未就学児	
	手段・手法	英会話教室の開催	
	サービス内容	・週1回、絵本や音楽を交えたレッスンをを行う。 ・ハロウィンやクリスマスなど季節ごとの行事を行い、楽しみながら英語に触れる。	

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円		令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)		令和3年度事業費の内訳	
コスト	報酬	3,000		0		0		[共済費]	
	共済費	489		502		1,588		会計年度任用職員共済組合負担金 617	
	需用費	55		0		108		会計年度任用職員退職手当組合負担金 971	
	負担金補助及び交付金	0		0		2		2 [需用費] 消耗品費 108	
								[負担金補助及び交付金]	
	事業費合計	3,544		502		1,698		会計年度任用職員福祉協会負担金 2	
人件費	常勤職員(延)	2人日	66	2人日	60	2人日	60		
	会計年度任用職員(延)	時間	0	2,560時間	3072	2571時間	3,086		
	人件費合計	66		3,132		3,146			
総事業費		3,610		3,634		4,844		令和3年度財源内訳の積算	
財源内訳	国庫支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源	3,610		3,634		4,844			
財源合計		3,610		3,634		4,844			
R2年度 実施内容	毎週火曜日: 保育園年中 毎週水・金曜日: 保育園年長 そのほか、ハロウィン仮装行列・クリスマス発表会を開催 登録児童数…41名、開催数…154回、述べ参加児童数…1,488名								
活動指標 ※何をどのくらいやったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)		目標年度		
			R1(目標)	R2(目標)			最終目標値		
開催回数	開催回数が多いほど、幼児に対する学習効果の増が期待できる。	回	101 (-)	154 (-)	(-)		年度 ()		
			()	()	()		年度 ()		
成果指標 ※どのような効果があったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)		目標年度		
			R1(目標)	R2(目標)			最終目標値		
延べ参加児童数	参加児童数は、魅力ある取り組みとなっているかを計るひとつの指標となる。	人	1203 (-)	1488 (-)	(-)		年度 ()		
			()	()	()		年度 ()		

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1次評価(自己評価)	1. 妥当性の評価			1
	20	生涯学習推進計画策定事業		1
		<input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0)	説明	
	<input checked="" type="radio"/> ② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。			1
	<input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)	説明	専任の英語指導員が講師となり、きめ細かな指導を行っており、現在の手法が望ましいと考える。	
	2. 公平性の評価			
	16	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。		2
		<input type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input checked="" type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)	説明	年齢要件を満たせば誰でも参加可能である。
	<input checked="" type="radio"/> ② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。			2
	<input type="radio"/> 十分適切である(10) <input checked="" type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)	説明	参加費は無料である。(※稀に教材費を実費負担いただく程度となっている。)	
3. 有効性の評価				
16	① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)	説明	国際化が著しく進行する中、幼児期より英語に慣れ親しむことは極めて有効で、ニーズのある事業である。	
<input checked="" type="radio"/> ② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。			2	
<input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input checked="" type="radio"/> 計画値通りである(6) <input type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)	説明	目標値は設定していないが、多くの児童が参加しており、一定の成果が上がっていると言える。		
4. 効率性の評価				
16	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎているか。		2	
	<input type="radio"/> 比較的低コストである(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	説明	指導員はキッズ英会話教室以外にも、授業や海外派遣時の引率など様々な場面で活躍しており、適正なコストと考えられる。	
<input checked="" type="radio"/> ② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。			1	
<input checked="" type="radio"/> 効率性が高い(10) <input type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率性である(0)	説明	指導員は1人で事業をこなしており、成果の面と照らし合わせても極めて効率性が高いと考える。		
5. 優先性の評価				
20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)	説明	国際化への対応という観点からも、必ず実施すべき事業である。	
<input checked="" type="radio"/> ② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。			1	
<input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)	説明	指導員は誠実かつ勤勉に職務を遂行しており、児童からも慕われている。町民ニーズを考えても、廃止した際の影響は甚大である。		

合計	88 /100	事業実施の課題・方向性	幼児期から外国語学習の機会をもつことは児童にとって非常に有益であり、国際教育の面からも本事業に継続して取り組むことは大変意義のあるものである。指導員の勤務態度も良好であり、事業開始から今年で13年目となるが、大きな問題もなく安定した教室運営を行っており、今後についても同様の成果が期待できる。
----	------------	-------------	--

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価(政策プロ)	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	今後の取組方針(改善点・変更点)		
主管者会議評価	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	総合コメント		